

水道局の運営にあたって

水道局では、安全で良質な水を安定的に供給することを使命として、利用者の皆さまの視点に立った運営を目指しています。

水道事業は、市民の生命や健康に直接関わる、また、市民が生活するうえで必要不可欠な「水」を扱う重要なライフラインであることから、事業の安全性や安定性ということが第一に求められます。

蛇口をひねればいつでも安心して飲むことができる水が出るという、利用者の皆さまの信頼を決して裏切ることのないよう、安定した事業運営を常に心がけていきたいと考えています。

水道は装置産業といわれるように、浄水場や管路などの水道施設が適切に維持・管理されていなければ事業の継続は困難となります。

また、これからの水道は、気候変動や災害などのリスクにも適切に対応していかなければなりません。

札幌の水道事業は、昭和40年代以降、急速に整備を進めた浄水場や管路が、今後、次々に更新時期を迎えるため、計画的な更新とその財源の確保を図ることが最も重要な課題となっています。

この課題の解決にあたっては、何よりも長期的な視点に立って、計画的に事業を進めていくことが必要であることから、平成24年度の実施プランでは、当該年度の取組に加えて、今後の取組の方向性についても明らかにし、利用者の皆さまとの情報共有に努めました。

安全でおいしい水をいつまでもお届けできるよう、将来にわたって持続可能な強い水道システムを実現するために、全職員が力を合わせて取り組んでまいります。

平成24年(2012年)4月

札幌市水道事業管理者
水道局長 北野 靖尋